

# 志賀中 Today

学校教育目標:心ひらき つながり 高め合える生徒の育成

志賀中学校だより  
令和5年1月10日発行  
第9号 生徒数 558名  
文責:校長 古川 昌弘

志賀中学校 生徒の行動目標

あいさつ いのち のびのび しんせつ がっつ

## 新年 明けましておめでとうございます

新年が明けて10日が経ちました。今年は曜日の関係で例年より遅い始業式となり、冬休みが少しだけ長く感じられた人も多いのではないのでしょうか。昨年に引き続き、本年もよろしく願いいたします。

さて、今日から三学期がスタートしました。1年の中で、寒さが最も厳しい季節になりますが、元気いっぱい跳ね回るウサギのように、飛躍の年にしていきましょう。



## 「ウサギとカメ」の話から

皆さんは、童話「ウサギとカメ」の話を知っていますか。あまりに有名な童話なので知らない人はいないでしょう。ウサギとカメが競争し、ウサギが油断して昼寝をしている間にカメはコツコツと歩みを進めて、ウサギを追い抜いたという話です。でもそこには「ウサギの油断以外に本当の理由があった」という記事を見かけました。では、それはいったい何だったのか。一部を抜粋して紹介します。

わかりやすく言うと、ウサギとカメでは「見ているところが違った」ということです。ウサギは何を見ていたのか。ウサギは、カメを見ていました。だから、ノロノロとやってこないカメに、油断をしてしまったのです。対するカメは何を見ていたか。ゴールを見ていたのです。カメがウサギを見ていたら、昼寝をしているウサギを見て、自分も休んでしまったかもしれない。ところがカメはそうしなかった。ゴールを見ていたからです。

つまり、何が大切かという、ゴールは何かをしっかりと見極め、競争相手に惑わされることなく、ゴールを見ることだと言うことです。カメはゴールを見ていたから、歩みは遅かったけれど、足の速いウサギより先にゴールすることができた。「見ているところが違った」から、この結果が生まれたのです。

そして記事は、もしかしたら、これは仕事（勉強）や人生にも言えることなのではないか。ゴールを見ずに、隣ばかり、周囲ばかりを見てしまっていないだろうか。そして、もっと大事なことは、ゴールをしっかりと定められているかということだと結んでいます。

皆さんはどのように思いますか。

# 人権学習の取り組み

12月の志賀中学校人権週間では各学年がそれぞれのテーマに応じた人権学習に取り組みました。志賀中の人権学習の特徴は、当事者からの生の声を聞くということです。今年度も1年生は障がい者理解、2年生はLGBTQ、3年生は在日コリアンに関する学習に取り組みました。今回の学習をきっかけにして、皆さん一人ひとりがお互いのことを大切に思い、みんなが明るく楽しい生活ができる学校や社会を作っていくための正しい人権感覚を身につけてほしいと思います。



## 表彰の記録

◇滋賀県新人錬成大会 柔道女子団体戦 第3位

柔道中学1年男子の部 優勝 中上 泰朗明 準優勝 木村 旬

柔道中学女子の部 準優勝 落合 千草

第3位 山口 温 岡本 陽空

◇スペシャルオリンピックス日本広島2022バドミントン 優勝 田中 健太郎

◇第51回滋賀県アンサンブルコンテスト 地区大会 金賞 ※県大会出場

◇令和4年度「我が家の1か条（おおつ家庭教育5か条）」

最優秀賞 1年 樋口 舜 佳作 1年 古賀 一夏

◇大津カップ2022（女子バレーボール）G2トーナメント 第2位

### ◇◆ 1月の予定 ◇◆

- 1/ 6日（金）3年生実力テスト
- 10日（火）始業式
- 11日（水）  
1・2年生学びの基礎チャレンジ  
（国語・数学）
- 12日（木）給食開始
- 14日（土）アンサンブルコンテスト  
（県大会）
- 18日（水）評議専門委員会

### ◇◆ 2月の予定 ◇◆

- 2/ 2日（木）1・2年生実力テスト  
入学説明会（新入生向け）
- 13日（月）評議専門委員会
- 21日（火）・22日（水）  
学年末テスト

